

あいち防災フェスタにブース出展

～ハザードマップの周知・副読本の配付、災害に便乗する悪質な業者の啓発等～

日本損害保険協会中部支部（委員長：中西 貴志・損害保険ジャパン株式会社 執行役員）は、11月13日（日）にあいち健康の森公園で開催されたあいち防災フェスタにブースを出展しました。

愛知県では、11月第2日曜日を「あいち地震防災の日」と定め、愛知県民に防災への関心を高めてもらうため、また地震への備えを進めてもらうため、平成19年度から毎年「あいち防災フェスタ」を開催しています。このイベントは、愛知県民、自主防災組織、企業、NPO、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の連携を推進するとともに、家具等の転倒防止対策や防災ボランティア活動への理解促進を図ることを目的としています。

当支部のブースは、第18回「ぼうさい探検隊マップコンクール」でデジタルマップ特別賞に選ばれた「THE OBATA（愛知県）」の作品展示や、愛知県と共同製作した「家具転倒防止補助プレート」の配付（先着200名）とともに、各来場者の居住地域のハザードマップをその場で確認してもらい、自宅付近の防災を考える取組みを行いました。

また、11月に愛知県警協力のもと作成した、災害に便乗する悪質な業者の啓発チラシも配付し、来場者に災害時や災害後に特に注意するよう呼びかけました。

当支部では、地域の防災力を高めるため、今後も防災・減災啓発活動を進めていきます。



＜家具転倒防止補助プレート配付の様子＞



＜居住地域のハザードマップを確認する様子＞



<配付した家具転倒防止補助プレート>



<災害に便乗する悪質な業者の啓発チラシ>